

令和2年度 【たつの市】認知症地域支援推進員活動報告

【たつの市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：7名（専従：5名 兼務：2名）
- 2 認知症地域支援推進員の役割

医療・介護等の
支援ネットワーク
構築

- ・認知症疾患医療センターを含む医療機関、介護サービス事業所等関係者の連携体制構築
- ・認知症ケアネット（赤とんぼ連携ノート、認知症生活べんり帳）の作成・普及

認知症対応力
向上のための
支援

- ・認知症に関する正しい知識の普及・啓発
- ・認知症対応力向上研修を医師会等と共催、多職種協働研修の開催
- ・たつの市キャラバン・メイト連絡会の支援、認知症サポーターの支援

相談支援
・
支援体制構築

- ・認知症予防普及啓発（個別相談、講座の実施など）
- ・認知症初期集中支援チームの主導・調整
- ・もの忘れ相談の実施
- ・認知症の相談支援、認知症カフェ等の支援
- ・若年性認知症の相談支援、若年性認知症カフェの開催
- ・はいかい高齢者等見守りSOSネットワーク構築
- ・はいかい高齢者家族支援サービス（GPS貸出）の普及
- ・介護マークの普及



報告者氏名： 奥林 真寿美

【たつの市】認知症施策全体図 1

令和2年度 たつの市認知症施策一覧 (たつの市地域包括支援課認知症支援係)

認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

認知症の方

家族

地域

介護

医療

予防

1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- 認知症予防普及啓発：認知機能評価ツールを用いた個別相談を市内全小学校区（18か所）の公民館等へ出向いて実施。認知症予防講演会（年1回）、出前講座「知って安心！認知症講座」の実施。いきいき百歳体操4年目グループに認知症予防講座を実施。
- 認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座：認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を応援するサポーター養成講座等を実施。認知症サポーターの自主的な活動を推進する。
- 認知症キッズサポーター養成講座：小中学校教育の中で、認知症への理解を深めるため認知症サポーター講座を実施。
- キャラバン・メイトの活動支援：キャラバン・メイトの活動を支援。定期的に連絡会実施。
- 認知症生活べんり帳の普及：認知症に関する事業、サービス、社会資源等をまとめたパンフレットを配布。

気づき(早期発見)

2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供

- 認知症初期集中支援チームによる支援：専門家チームが本人や家族を訪問し、家族支援や必要な助言を行い、必要な医療・介護サービスの利用に至るまで支援する。
- ODASCを使用した実態把握訪問による認知症早期発見（在宅介護支援センターに委託）
- もの忘れ相談の実施：専門医による認知症相談（年間6回）
- 認知症等に関する医師会・西播磨認知症疾患医療センターとの連携会議：（年数回）
- 認知症連携ツール：認知症の方が入院・入所する際に、BPSD 連携表（かかりつけ医が記入）、OLS 基本情報（ケアマネが記入）で連携を図る。
- 赤とんぼ連携ノート～認知症に備える私のノート～の普及：認知症になる前から、医療、介護の情報や大切なことを書いておき、本人の希望に沿った支援、連携支援に役立てる。自治会、老人クラブ、民生児童委員の会合、出前講座にて積極的に周知。
- 認知症生活べんり帳の普及：認知症の予防段階から状態に合わせて利用できる相談先や制度、サービスをまとめた冊子を配布。
- かかりつけ医向け認知症対応力向上研修・病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修



診断・治療

7 認知症の人やその家族の視点の重視

【たつの市】認知症施策全体図2

3 若年性認知症施策の強化

- 若年性認知症交流会（きりかぶカフェ）：NPOいねいぶると協働し、若年性認知症の方やその家族が「集う」「（必要な支援に）つながる」「リハビリがてら働く」場として開催。（月1回）。

6 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその効果の普及の推進

- 西播磨認知症疾患医療センターへの協力。

4 認知症の人の介護者（家族）への支援

- 認知症初期集中支援チームによる家族支援。
- たつの市認知症カフェ連絡会：認知症の人や家族の介護負担の軽減を図るため、誰もが気軽に参加でき集う「たつのカフェ（認知症カフェ）」の運営支援を行うために、情報交換の場として連絡会を開催。（年2回程度）。

5 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- はいかい高齢者等見守り SOS ネットワーク：事前登録（ピカッとシューズステッカー）、緊急時の検索体制、日常の見守り体制の構築を図る。
- はいかい高齢者家族支援サービス：GPS 端末機を利用した所在不明時の検索、保護サービス。
- 安心声かけ体験講座・訓練：はいかい高齢者への声かけの仕方を学び、地域における見守り体制を強化するための講座を実施。希望される自治体で模擬訓練を実施。
- 介護マークの普及：認知症の人の介護において、介護中であることを周囲にわかりやすくするための名札型介護マークを配付。
- 生活支援の充実
- 住宅等の環境整備
- 社会参加の支援
- 消費者被害の防止
- 成年後見制度の活用促進
- 高齢者の虐待防止。



★ 定住自立圏構想連携事業

- 高齢者等SOSネットワーク構築事業：「ピカッとシューズステッカー」を圏域で共通の見守りグッズとし、はいかい対策の圏域ネットワークを構築

<①>：認知症初期集中支援事業の効果と課題

たつの市認知症初期集中支援事業の実績と評価について

訪問実績

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
実人数	129	194	100	132	99
延回数	230	394	241	270	174

評価方法

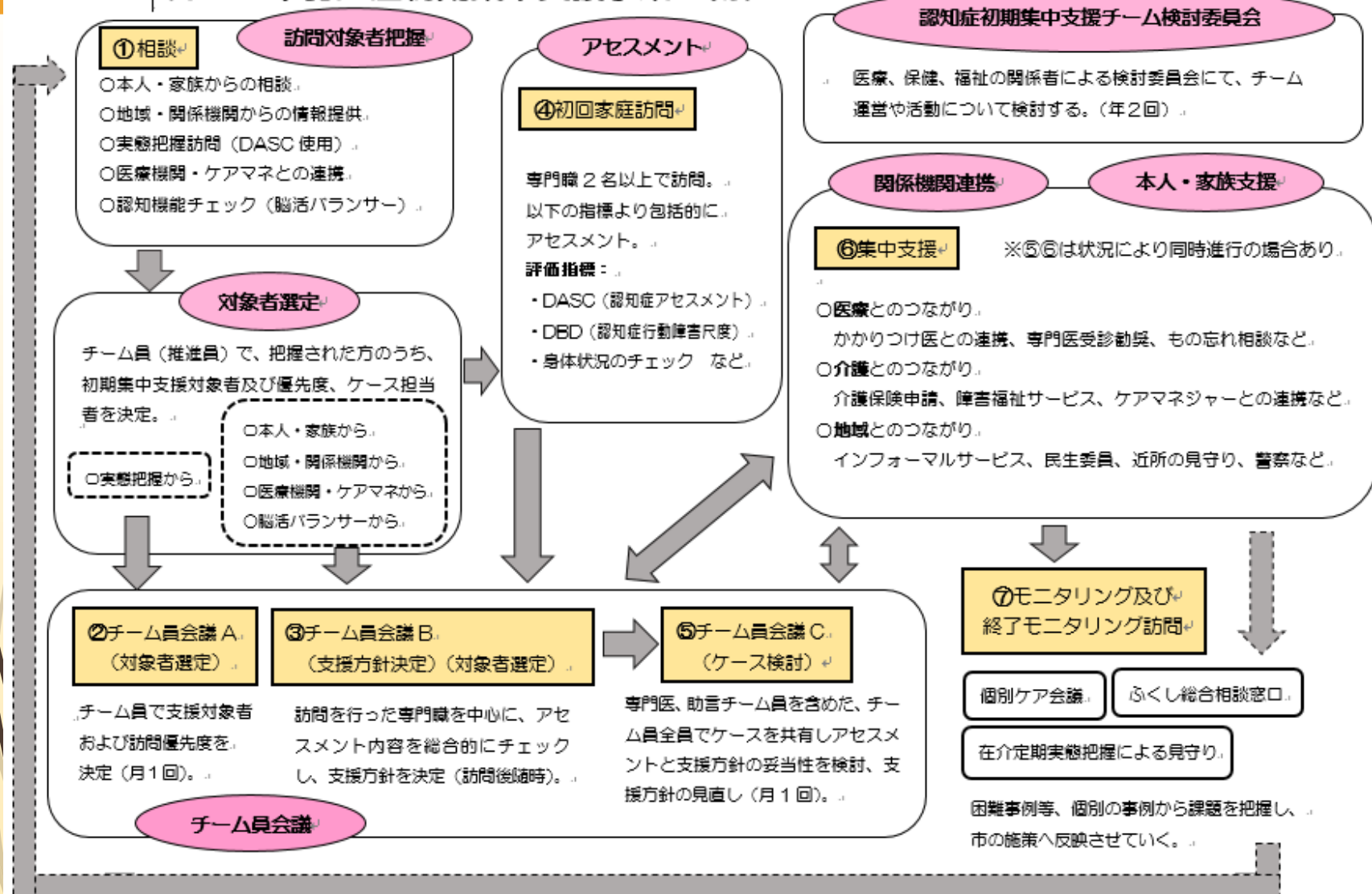
- 1 チーム員で自己評価（半期ごとにデータを取りまとめ分析）
- 2 認知症初期集中支援チーム検討委員会にて報告・評価

評価視点

- ・チームの介入効果「医療・介護・地域」とのつながりはできたか
- ・「集中支援」の内容、本人・家族に寄りそったか
- ・認知症「初期」への介入はできているか
- ・「集中支援」はできているか
- ・実態把握調査の効果はどうか など

<①>：認知症初期集中支援事業の効果と課題

たつの市認知症初期集中支援事業の流れ



<①>：認知症初期集中支援事業の効果と課題

たつの市認知症初期集中支援チームの介入効果

「医療・介護・地域」とのつながりはできたか

医療・介護

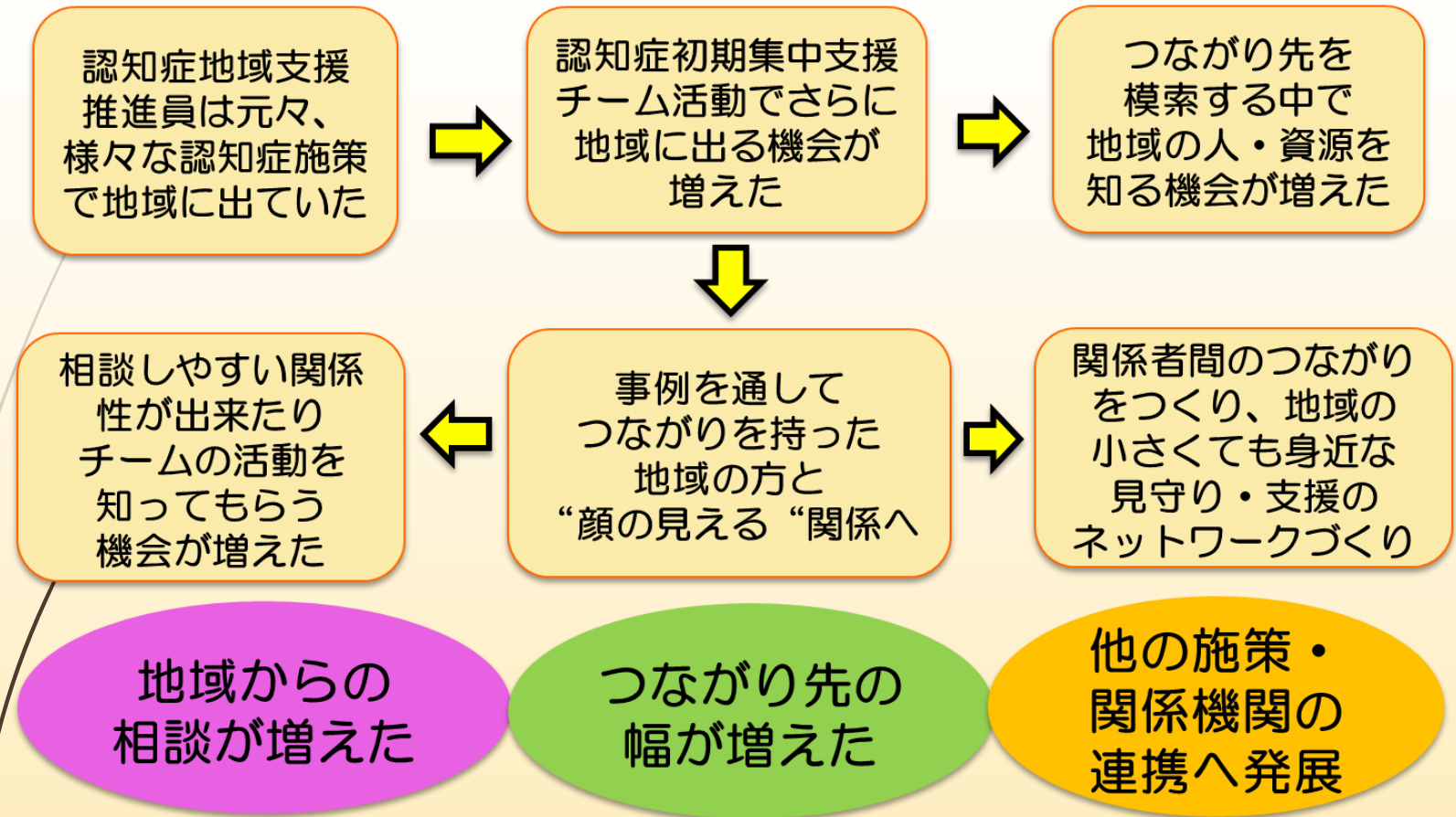
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	介入前	介入後	介入前	介入後	介入前	介入後	介入前	介入後	介入前	介入後
かかりつけ医	116	120	162	181	53	69	54	61	53	58
認知症専門医	47	62	56	124	33	54	24	35	20	32
介護認定	41	69	56	153	18	46	17	49	14	41
介護保険サービス利用	9	34	9	75	0	26	0	33	5	29

地域

認知症カフェやいきいき百歳体操などインフォーマルサービスや、民生委員、自治会長、近隣住民、警察、店舗など地域の見守りのネットワークへつなぐ。連携を図るなかでネットワーク拡充へ。

<①>：認知症初期集中支援事業の効果と課題

たつの市認知症初期集中支援チームの介入効果



認知症初期集中支援事業に
認知症地域支援推進員が入ることで
こんな効果がありました！

<①>：認知症初期集中支援事業の効果と課題

たつの市認知症初期集中支援チームのこれから

○課題

- ・マンパワーの問題
- ・チーム員の更なる資質の向上

○今後の取り組み

- ・優先順位に基づいた介入の徹底
- ・関係機関、地域住民への普及啓発活動
- ・MCIについて知識の普及・啓発
- ・アセスメント力の向上と全体のスキルアップ



認知症になっても
安心して自分らしく暮らせるまちへ